



2022.2.18

東京ホームタウン大学2022  
オープニングセッション

# 日野市の地域の現状と取組について



日野市高齢福祉課  
在宅サービス係  
地下(じげ)有可里

# 自己紹介



HELLO!

夫と子ども(7歳)との3人暮らし

～2017年 民間企業で勤務

2018年 日野市役所入庁

地域協働課に配属 コミュニティ施策

2019年 高齢福祉課 在宅サービス係 係長

在宅で暮らす高齢者へのサービス

(高齢者のケース対応、見守り支援ネットワーク事業、

認知症対策事業、避難行動要支援者対策 etc)

# 本日は話すこと

---



日野市の現状と課題

地域の現状

地域活動と今後について

# 日野市ってこんなところ

面積：27.53平方キロメートル  
人口：187,048人  
鉄道路線：JR東日本・京王電鉄  
多摩都市モノレール

SDGsビジネスセミナー



浅川



川で遊ぶ子どもたち



用水路



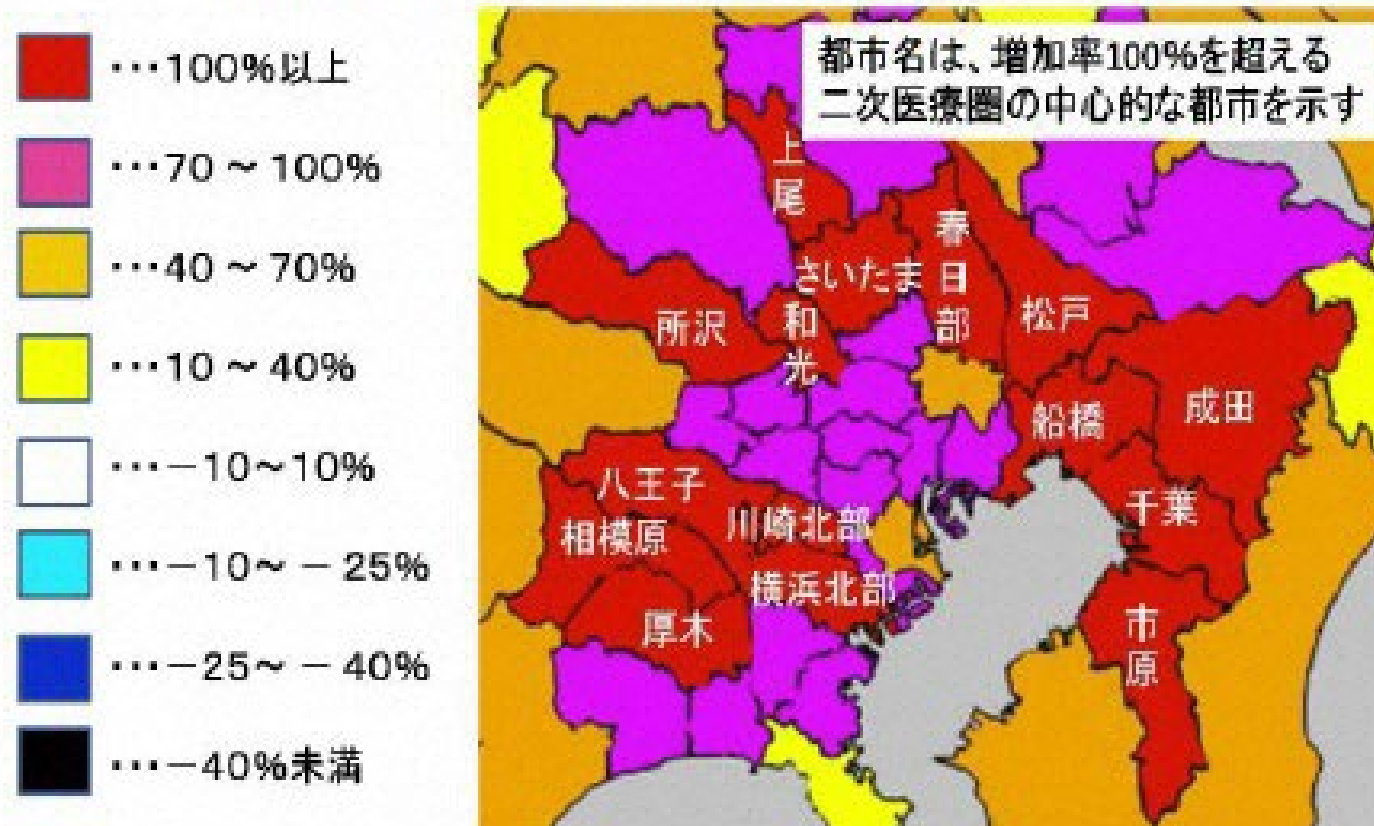
# 「ベッドタウン」の高齢化リスク

# 「課題先進国の課題最大化地域」

## 東京周辺の75歳以上人口増減率（2010年→2025年）

- 2025年に向けて後期高齢者の増加率が最も大きい地域は、東京周辺部（埼玉県、千葉県、神奈川県などの東京のベッドタウン）となっている。
- 千葉県西部、埼玉県東部・中央部、神奈川県県央部は、2010年から2025年にかけて、75歳以上人口が100%以上増加する。

【2010年→2025年の後期高齢者の地域別増加率】



(資料出所) 日本版CGRC構想市鎮者会議(第3回)高橋泰教授提出資料

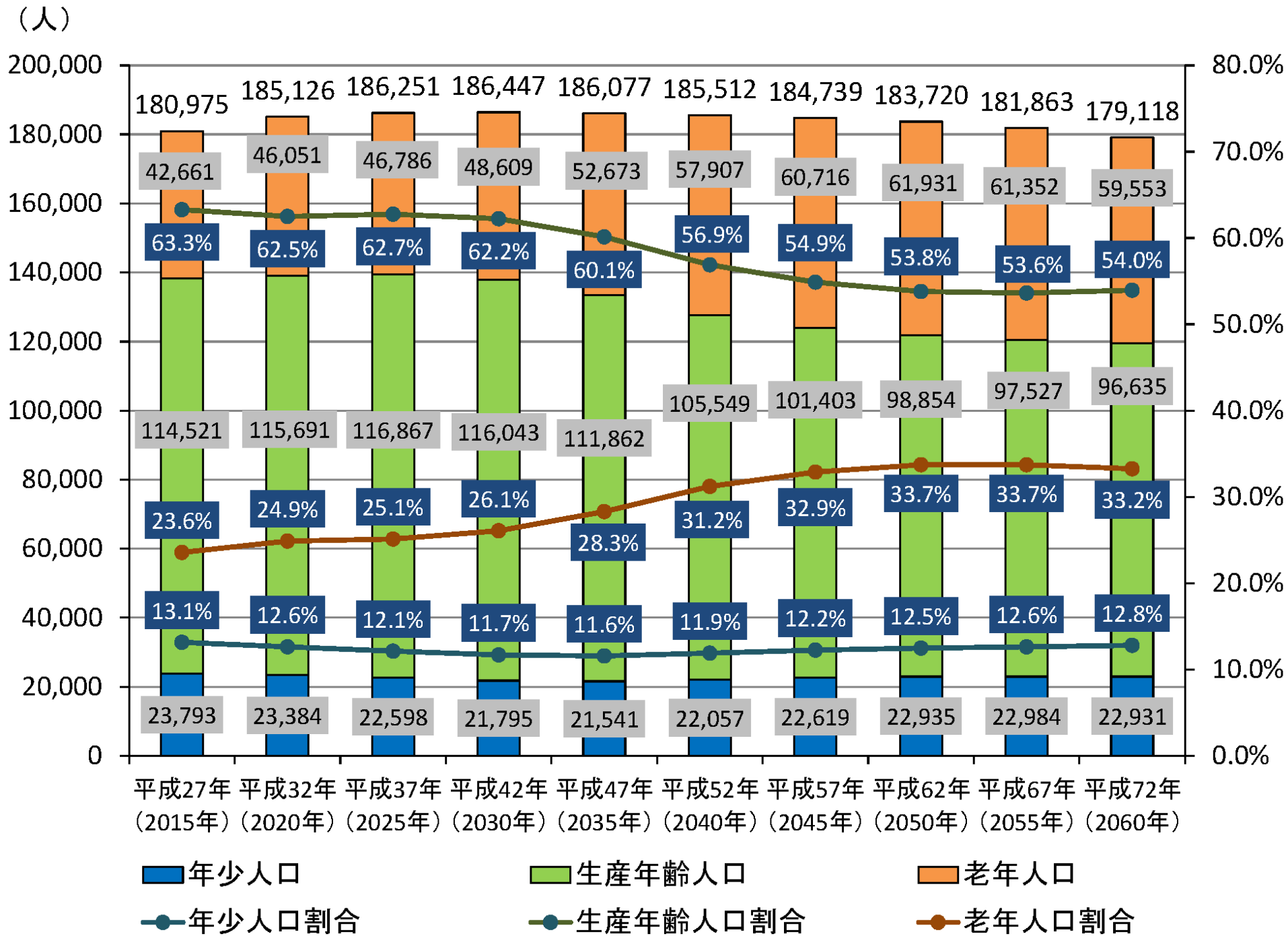
【地形的特色】  
七生丘陵の存在と  
浅川を境とする  
平地部の区分け

【まちづくり】  
土地区画整理事業  
丘陵地開発  
URの存在

【交通】  
3大拠点・12駅  
・日野、豊田、高幡不動  
・モノレールの存在

日野市のある「南多摩」の地域は、今後、都内で最も急速な後期高齢者の増加が懸念される地域であり、超高齢社会の課題対応無くしては、人口問題の解決はできない。また、開発時期により南側の丘陵地を中心に人口減少や高齢のみ世帯、独居の高齢世帯が増加、地域としての持続性が懸念される。

# 日野市の人口と割合



2030年をピークに減少に転じると予測される

生産年齢人口と年少人口は減少

老年人口は実数では2050年まで上昇する見込み。老年割合は今後も増加

人口	187,048人
高齢者人口	46,517人
高齢化率	24.9%

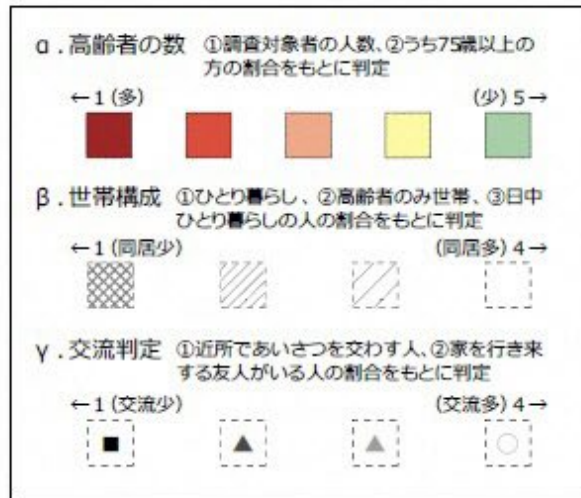
資料：日野市人口ビジョン（平成28年）

（令和3年4月現在）

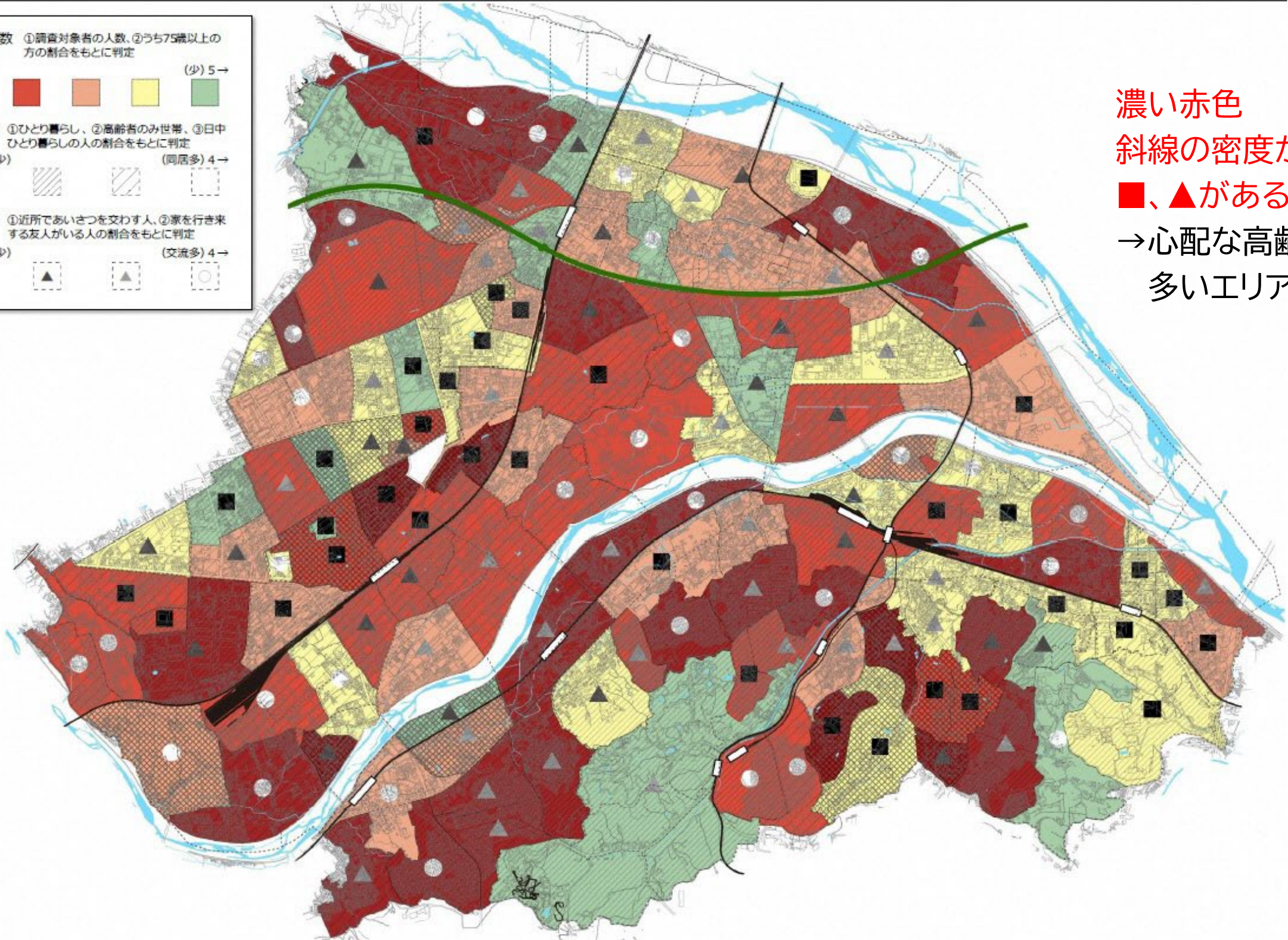


# 日野市 地域別高齢化の状況

■ 地域の高齢化の状況（令和元・2年度 はつらつ・あんしん調査より）



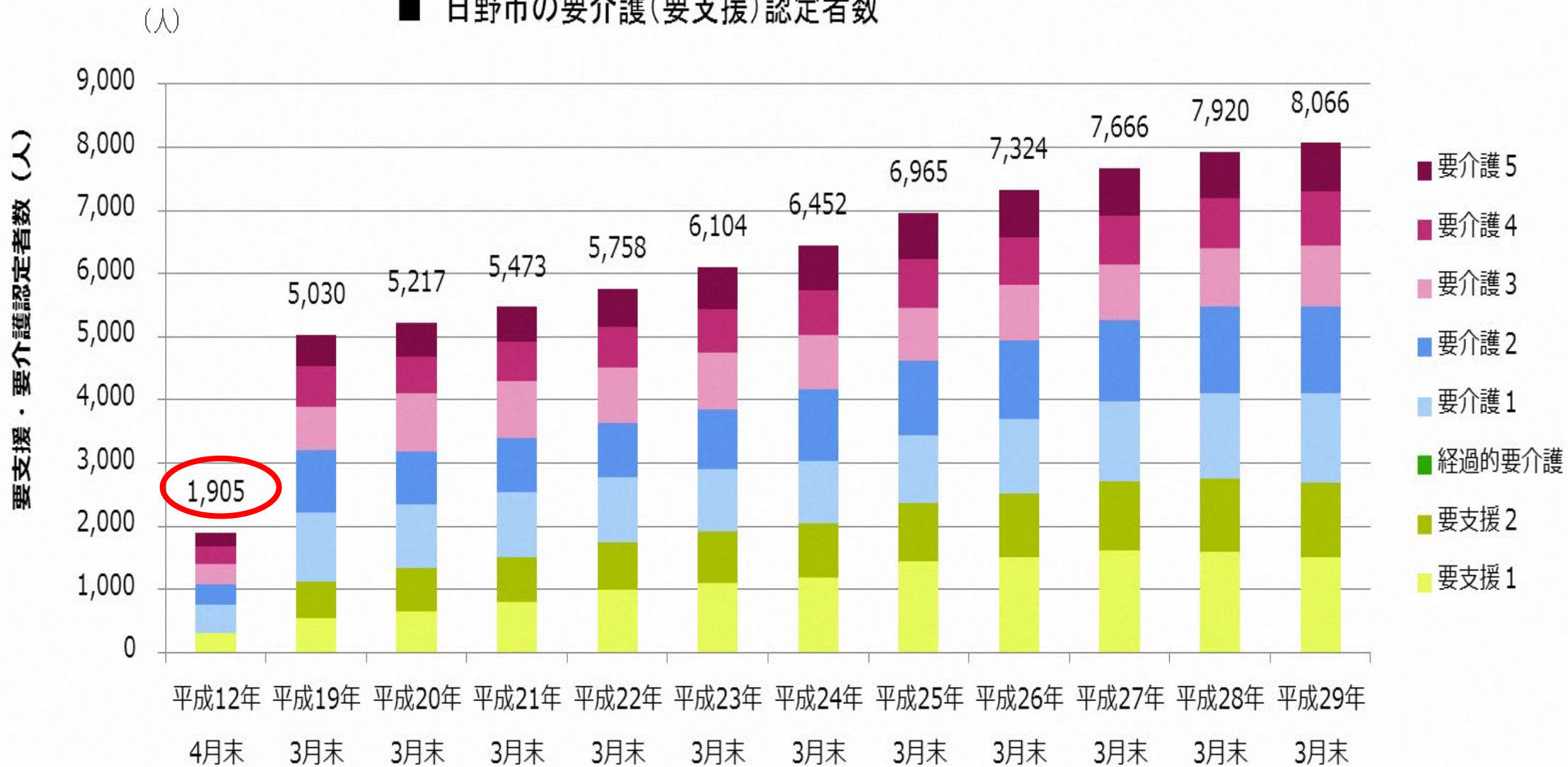
濃い赤色  
斜線の密度が濃い  
■、▲がある  
→心配な高齢者が  
多いエリア





# 高齢者を支える介護保険制度

■ 日野市の要介護(要支援)認定者数



介護認定者数 **9,332人** 介護認定者率 20.2% (令和2年3月末)

平成12年比で**約5倍!**

## 介護給付サービス 要介護と要支援により利用サービス異なる

- ・ 居宅サービス (訪問介護、訪問看護、訪問リハ、通所介護、通所リハ、短期入所生活介護など)
- ・ 在宅 (住宅改修、居宅介護支援)      ・ 施設 (特養、老健、介護医療院入所)
- ・ 地域密着型サービス (認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護など)



# 介護保険外のサービス

**住民主体の活動**を重要視

**見守り支援ネットワーク**

-見守り支援員、ふれあいサロン

**認知症支援事業**

-認知症サポーター、認知症カフェ、  
チームオレンジ、若年性認知症の方への支援



地域ケア会議の様子

**地域包括ケアシステム**の概念

**持続可能な「介護・医療・福祉」の体制を**



地域包括ケアシステム概念図

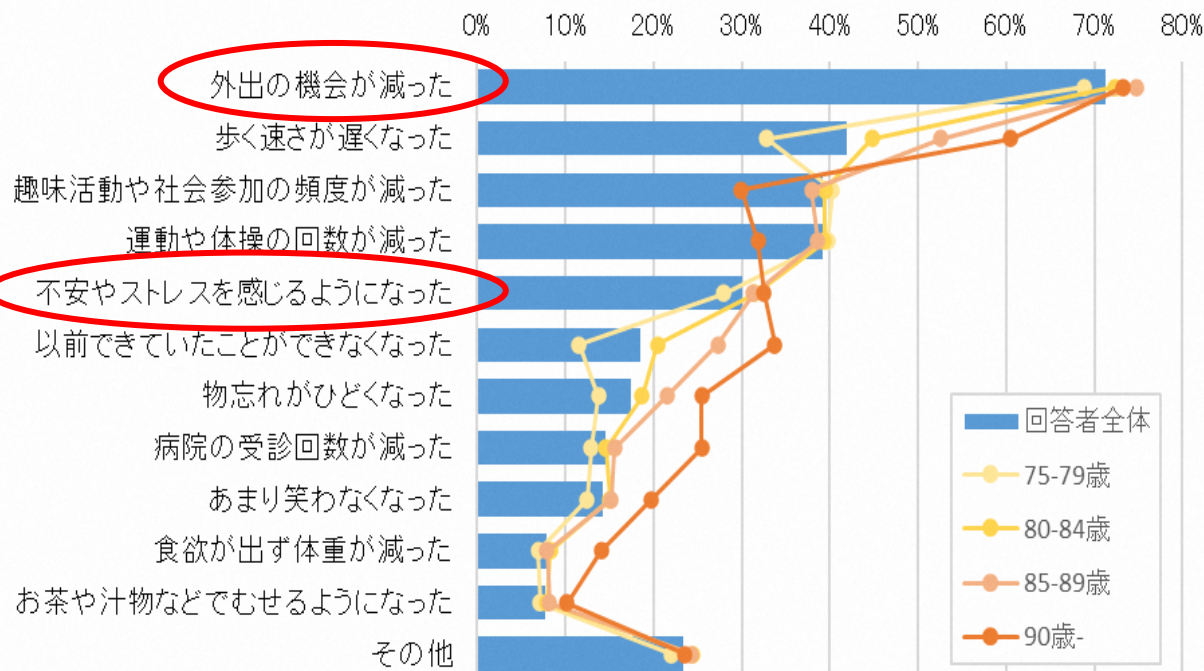
**生活支援体制整備事業**

-**住民主体の**介護予防・生活支援サービスの創出

# 新型コロナウイルス感染症流行による暮らしへの影響調査

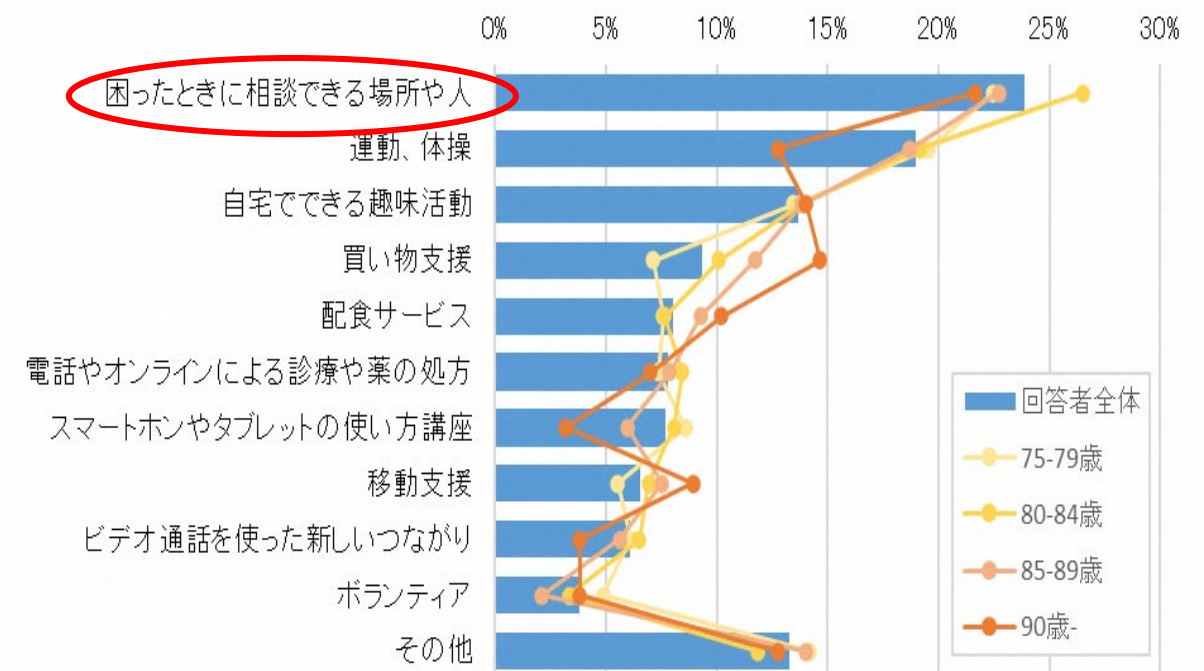
調査期間	令和2年9月
調査対象及び方法	市内で一人暮らしをしており、介護保険を申請していない75歳以上の高齢者を対象に、郵送にて調査票の配布・回収を実施
有効回答数	配布数 4,508通 回収数 3,249通 回収率 72.1%

## ①自粛生活のなかであなたの暮らしや体調、気持ちにどのような変化がありましたか



- ・7割強の方が「外出の機会が減った」、4割前後の方が「歩く速度が遅くなった」「趣味活動や社会参加の頻度が減った」「運動や体操の回数が減った」、3割が「不安やストレスを感じている」と回答
- ・ほとんど全ての項目で年齢が高い方ほど影響を受ける傾向あり
- ・ほとんど全ての年代で男性よりも女性の方が影響を受ける傾向あり

## ③暮らしのあり方が変化するなか、今後どのような活動やサービスがあるとよいでしょうか



- ・「困ったときに相談できる場所や人」は、年代や性別を問わず最もニーズが高い。「運動、体操」は90代未満の世代のニーズが高い
- ・「スマートホンやタブレットの使い方講座」「ビデオ通話を使った新しいつながり」は年齢が低いほどニーズが高く、「買い物支援」「配食サービス」「移動支援」は年齢が高いほどニーズが高い傾向あり



# 地域の人たちの思い

1. 取り組んでみたい、やってみたいことは何ですか？

**戦略的 おせっかい** 参加費 無料

日野市生活支援体制 整備事業講演会

あなたの“おせっかい”で地域を笑顔に！

地域の困りごとを地域のみなさんと助け合い・支え合うために、気になっているけど どうしたらいいのかな？そんなモヤモヤを持っている方、地域で誰かのために何かしたい と考えている方のヒントが見つかるお話が聞けます。

**日時** 2021年 12月7日 [火]  
13:00～15:00 (12:30開場)

**会場** イオンモール多摩平の森  
イオンホール

**定員** 会場 / 50名  
オンライン / 50名

**講師** 萩原なつ子氏

立教大学社会学部 / 大学院21世紀社会デザイン研究科教授  
専門は環境社会学、ジェンダー論、消費者教育、非営利活動論、東京都豊島区で子育て世代や働く若い女性の視点でまちづくりの政策提言を行った「としまF1会議」の産長を勤めた。

**タイムスケジュール**

- 13:00～ 基調講演
- 14:00～ 市内の活動発表・報告
  - 困りごとお助けクラブ
  - わんわんパトロール
  - 日野デリバリ、カーの取り組み
- 14:30～ 講師と報告者によるディスカッション
- 15:00 終了

※スケジュールは変更する場合があります。

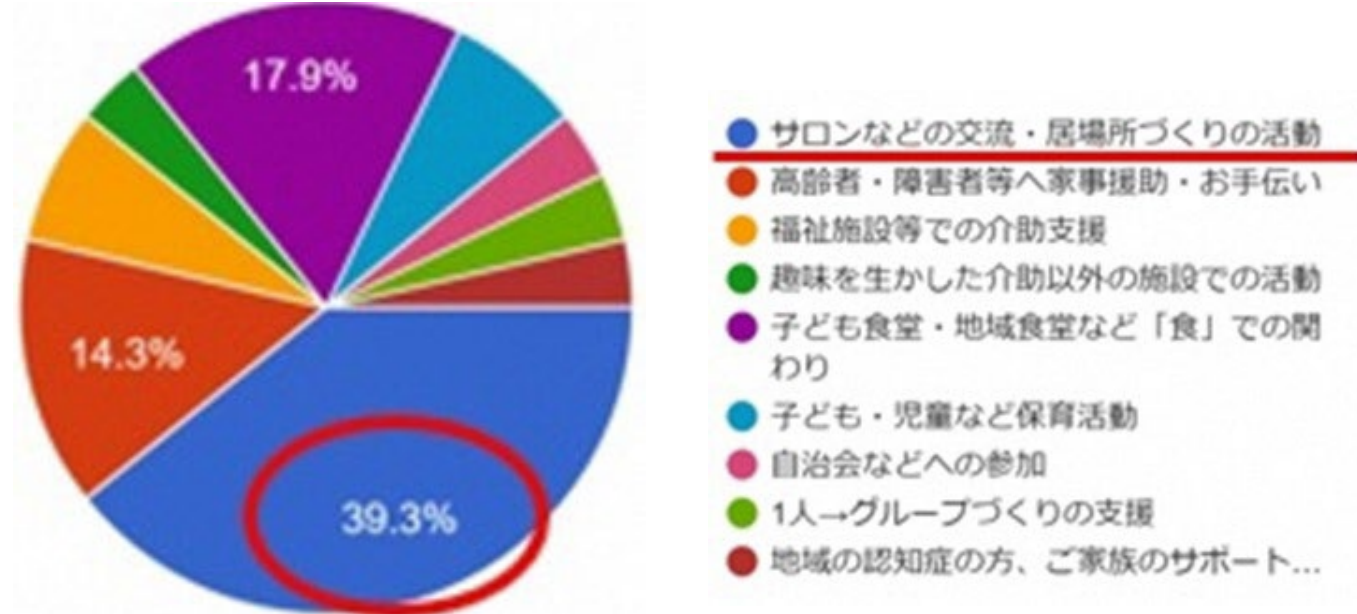
**新型コロナウイルスへの対応について**

感染の拡大状況によっては、中止またはオンラインのみの開催となる場合があります。感染防止の観点から、当日の入場者数を制限させていただく場合があります。

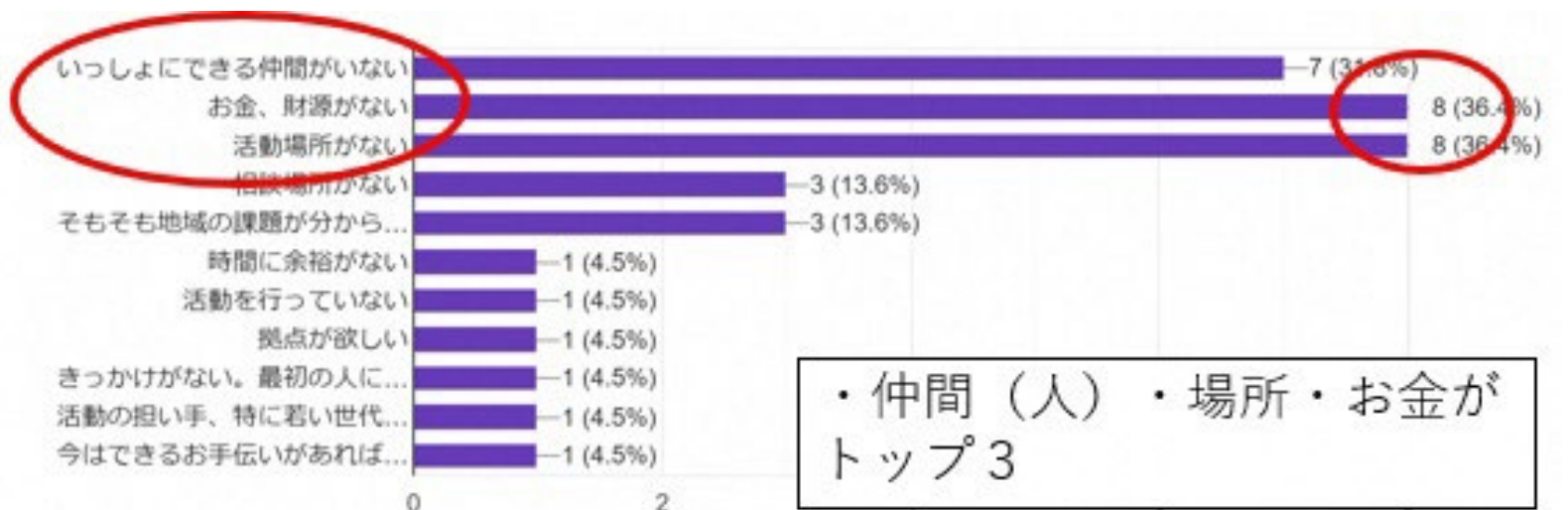
**講演会当日のお願い**

体調が優れない方は参加をお控えください。受付での検温で発熱が認められた場合、入場をお断りさせていただきます。会場内では必ずマスクを着用してください。

講演会「戦略的おせっかい」



2. 活動を行う上で課題となっていることは何ですか？





# ささえあいのまちづくり



高齢者の困りごと支援



防災活動

大学生も！



# 互近助サービス “ちょこすけ”

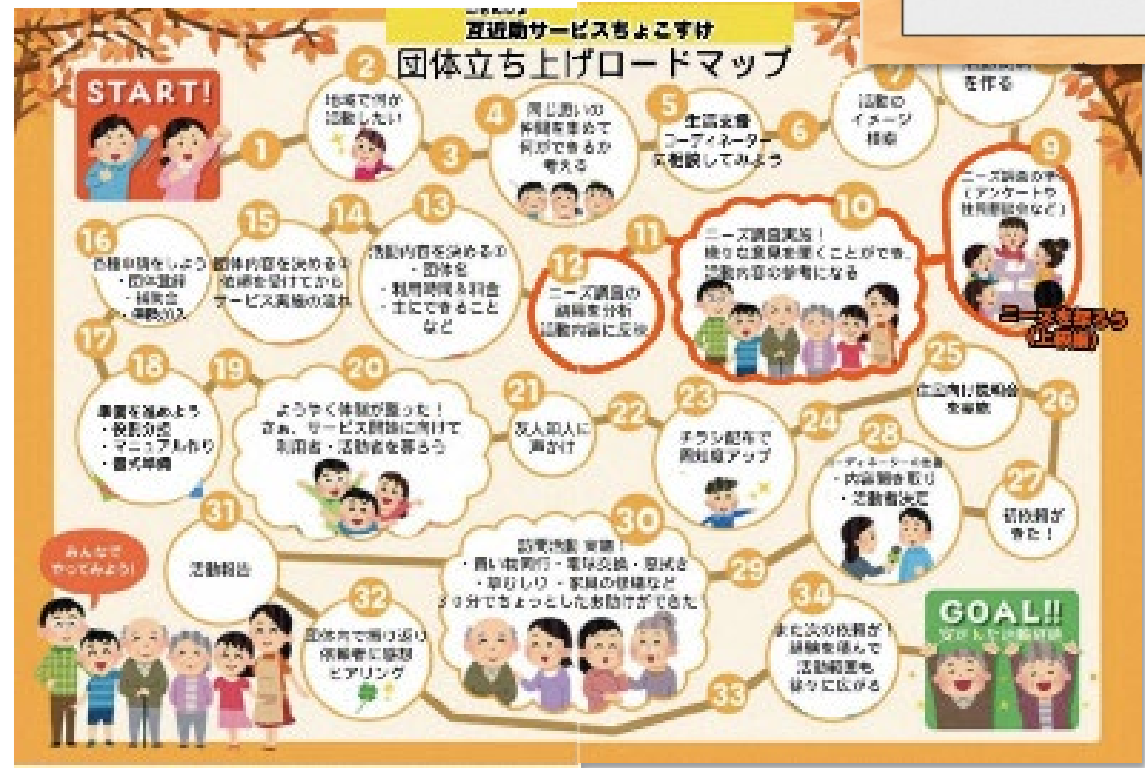
制作中！



## 住民主体による介護予防・生活支援サービス事業

自治会や地域有志の団体、NPO法人など、地域で活動する住民主体の団体が、在宅で暮らす高齢者に対して、日常生活におけるちょっとした困りごとのお手伝いや生活支援を行うもの

例) 電球交換、庭の清掃、お買い物代行、家事手伝い、通院同行、パソコンやスマホ操作補助 など





プロボノ支援

## 活動運営マニュアルの作成

成果

現在、生活支援・見守り活動の立ち上げを行っている団体の思いや課題を元に、新たな活動立ち上げにあたって参考になるような、スタートガイドを制作。

活動団体さんとの  
ワークショップ



プロボノチーム・  
日野市社協の  
みなさんと!

